

松 緑 白 花

Vol 1 6

石垣市立石垣中学校
教 頭 市原 教孝

8/30(日) 渡慶次佳奈子さん(2-1)、優秀賞に輝く 地区少年の主張大会



台風 15 号の接近でこの日に延期された大会。郷土芸能部の東京派遣から帰ったばかりの佳奈子さんが熱弁。見事、優秀賞に輝きました。

さすがは「次代を担う」少年たちの発表会でした。真剣に考え、真摯に発表する清々しさに感動しました。新学期に向けて、力をもらいました。

変えたい、真面目の捉え方

石垣中学校 2 年 渡慶次佳奈子

みなさんは、真面目と言われてどう思いますか。「嬉しい」と思いますか。それとも、「真面目と言われて嫌だ」と思いますか。私の友人には、「真面目だね」と言われて「全然違うよ」と答える人が多いです。私は、真面目なことは良いことだと思っていますが、最近ではあまり良い意味で捉えられていないようです。しかし、真面目という言葉は本来、ほめ言葉なのです。そこで疑問が出てきます。なぜ今、真面目という言葉は良い意味で捉えられていないのでしょうか。

このことを考えたとき私は、道徳の時間に資料として配られた新聞の投書を思い出しました。そこには、ある高校生の「真面目」に対する否定的な気持ちが書かれていました。文面には、「自分は真面目にするべきことをしているのに、やらない人がいるのはなぜ。だったら、真面目なこと何の意味があるの」と書かれていました。私は、この文章を読んで、私達の身の回りでもよくあることだと思いました。例えば、授業のなかでの班活動のときや学級活動、また部活動などのときに、どんなに真面目に役割を果たしたとしても、やらない人がいれば、その分をやることになるのは真面目にやった人なのです。真面目な人は、大変なことや損をすることが多くあるのです。だからこそ、「真面目」であることを嫌がるのではないのでしょうか。しかし、みんながみんなそれを嫌がって何もしなければ、活動は進みません。

また、私もこれまで真面目に頑張ってきて「真面目か」と言われた経験があります。そう言われてしまうと、何もできなくなってしまう。真面目に頑張りたいのにそれができずに悩んだことがありました。「真面目」でいることが苦しくなり、何のために真面目に頑張るのかわからなくなったこともあります。この高校生の投書には反響が寄せられていました。その多くが励ましや「真面目」を軽んじられる風潮を戒める声でした。その中に、「真面目な人は、真面目じゃない人が得られない何かを得ている」という文章がありました。私は、この文章を読んだとき、何かとはどんなことなのか、また自分もその何かを得ているのかなと思いました。それは、真面目に頑張った分だけの「結果」や真剣に取り組んだ分の「成長」、また「周りからの評価が得られる」ことなのではないのでしょうか。

私は郷土芸能部に所属しています。入ったばかりの頃は本当に下手でしたが、毎日真面目に練習しました。すると次第に周囲から誉められ、選抜メンバーにも選ばれました。このような経験から、真面目なことは「良いこと」だと思うようになりました。真面目という言葉が軽んじられる理由として私は、楽をしたいと考える人が増えたからだと思います。真面目に頑張ることは、その分の努力が必要とされます。その努力を面倒に思う人が増えたことで、真面目を否定的に捉えるのではないのでしょうか。さらに、私達中学生は思春期で、自分と周りの違いに敏感になる時期です。だから、真面目に否定的な周りと合わせているのではないのでしょうか。でも、もう一度、真面目について考えてみてください。真面目なことは、本当に損なのではないでしょうか。私は、「真面目」と言われて「嬉しい」と思う人が多くなってほしいです。

8/27(木) 健闘！ 離島甲子園ベスト 8 ネットより↓



準々決勝の福江中戦に先発した石垣島バレーボールチームの選手たち。阿次富

＜離島甲子園＞◇27日◇長崎・五島市 中央公園野球場、中央公園多目的広場

全国の離島に暮らす中学生が参加する「国土交通大臣杯第8回全国離島交流中学生野球大会」(通称・離島甲子園＝日刊スポーツ後援)の決勝が27日、長崎・五島市で行われ、地元福江中が久米島イーグルス(沖縄)を1-0で破り、初優勝を飾った。

▼準々決勝

福江中1-0石垣島バレーボール

9月のおもな行事

- 9/ 1(火) 始業式、リーダー研修会
- 9/ 2(水) 実力テスト(国理英)
- 9/ 3(木) 実力テスト(数社)
- 9/ 5(土) 野球ポカリ杯地区予選
科学甲子園地区予選
テニスダブルス大会
- 9/12(土) 高円宮英語弁論地区大会
- 9/18(金) 地区科学作品展(～20)
- 9/19(土) シルバーウィーク(5連休)
- 9/27(日) 地区陸上(全員参加です)
- 9/28(月) 振替休日

8/15 (土)

校庭の空に花火 Fantastic Live 大成功！

生徒会とPTA共催で手作りの第1回夏祭り



10月の合唱コンクール、今年は各クラスが合唱だけに集中できるよう「夏祭り」と称してFantastic Liveを夏休みに開催しました。

下地寛正氏のご厚意による盛大な花火も上がり、まさにFantasticな夜になりましたね。まだ余韻が残っています。

私が最も感動したことは、「郷土芸能部の東京公演を応援しよう」と生徒会・保護者・職員・地域のみなさんが心を一つにして、献身的に取り組んでくれたことです。

とりわけ生徒会役員の自主的な精力的な取り組みには頭が下がりました。もうすっかり大人ですね。

また下地盛喜会長を先頭に、保護者の協力もすごかった。地域の企業を1軒1軒訪問し、たくさんの協



賛をいただきました。60社を越える地元企業・団体のみなさま、ご支援ありがとうございました。それから、バザー出店にご協力いただいた5つの部活動保護者会のみなさんも、ありがとうございました。おかげで目標としていた20万円を郷土芸能部に寄付をすることができました。

ステージには約100名の生徒たちが上がり、それぞれのパフォーマンスを思い切り発揮してくれました。みんな輝いていました。また先生方や卒業生も華を添えてくれました。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」…みんなで成功させたさわやかな夏祭りでしたね。

初の石中夏まつり盛況
郷芸部の派遣費造成で



夏休み補習にのべ700名

よくがんばりましたね。先生方にも感謝。



8/23 (日) 台風15号が直撃

「最大瞬間風速71m」= 登野城气象台観測史上最大。みなさんのお宅は大丈夫でしたか？本校は特に校長室が大きな被害を受けました。しかし、各部活のみなさんや先生方の奮闘で何とか復旧に向かっています。また、24・25日はせっかくの出校日でしたが水道ポンプの故障で満足な授業ができずごめんなさい。

